

はやぶさ 第155号 2015年10月16日(金)

今回のシリーズでは「資産運用や相続・不動産」について経験豊かな
専門家により解説してもらいます。

「老後破産」にならないためには？

5回シリーズの 第3回

著者： ファイナンシャルプランナー
マネープライランニング
小屋 洋一

はやぶさ 第155号を発信します。

【タイトル】「老後破産」にならないためには？

***** 本題 *****

第3回 「退職後の資産運用」

今回は退職後の資産運用について考えます。定年退職をした方々
の中には、退職金を受け取って初めて、これまで現役生活では
経験をしなかったほどのまとまった金融資産を手にする方もいます。

そこで、まとまった「退職金」を運用するべく、最初に銀行や
証券会社に相談しに行くといったケースが後を絶ちません。
しかし、それはあまり賢明な順番とは言えません。

前2回の連載でも述べてきたとおり、「老後」の資産運用は
あくまで「老後」の生活費に不足する部分を補うために必要な
程度を運用するということが一番大事なポイントです。

そのためには、これまで学んできたように

「自分」は老後どの程度資金が必要なのか？

年金生活だけではどの程度不足するのか？

といったことをまず検討する必要があります。

例えば、第1回目の連載で学んだように、65歳以降年金収入だけでは生活費として年間70万円の資金が不足するようであれば、90歳まで生活すると仮定して、 $70 \text{万円} \times 25 \text{年間} = 1750 \text{万円の}$ 資金が必要であると計算できます。

もしも65歳時点で1,500万円の貯蓄があるとすれば、老後の資産運用はどのように考えればよいでしょうか？

この場合には「**資本回収係数**」という計算式を使って計算します。これは今持っているお金を一定利率で運用しながら、毎年いくらずつお金を取り崩して受け取れるかを計算するときに利用します。

今回のケースで、1500万円を持っていて25年間にわたって年間70万円を取り崩すには、安定的に1.23%の利率が必要なことが計算できます。

（インフレ率に関して今回は考慮しませんが、実際にはインフレ率を考慮して、この必要な利率に予測されるインフレ率を足した合計で考える必要があります。）

次に手元に置いておく、現預金の額を検討します。私がアドバイスをする場合には年間不足資金の5年～10年分を手元に置いておくように勧めます。するとこの場合には350万円～700万円は現金で置いておくことになります。この理由は資産運用を始めると、運用している資産は増えたり減ったりのブレが生じますので、当面の手元資金に心配することなく取り崩しのタイミングを計るのに5年～10年程度の余裕があることが望ましいからです。

今回 10 年分 700 万円は手元に現金として置いておくとする、800 万円が運用可能な資金となります。この 800 万円に対する運用ポートフォリオを考えます。オーソドックスに国内海外の株式・債券と 4 資産に均等に分散投資をしたとすると、日本株式 200 万円、日本債券 200 万円、外国株式 200 万円、外国債券 200 万円となります。

この基本的な 4 資産を 10 年間（2004 年～2014 年各種インデックス）保有した場合のリターンは年率 4.7%でした。

手元の現金 700 万円は、現在の状況が続けば、利回り 0 と考えて良いので 1,500 万円全体では 10 年間で年平均 2.5%程度のリターンがあったこととなります。

これであれば、当初必要だと考えていた 1.23%の利回りは十分に確保していたこととなります。資産運用のリスクをそれほど取りたくなければ、現預金の量を増やすことで調整ができます。今回のケースではもう少し現預金が多くても大丈夫そうです。

このように、金融機関に相談に行く前に、まずは自分で

- 1) 自分の老後にはどの程度資金が不足しそうなのか？
（1 年でのどの程度の資産を取り崩していく必要があるのか？）
- 2) 不足する金額に対して、保有している資産にどの程度の運用利回りがあれば大丈夫なのか？
- 3) 1 年間で不足する金額の 5～10 年分は現金で置いておく
- 4) 残った資産を運用することで 2) の運用利回りはカバーできるのか？

といったところまでは検討して、金融機関に相談する場合には 1) ～ 4) の話を伝え、運用する金額と期待するリターンを基に話を進めて行くことをお勧めします。

もしもこうしたプロセスを、重視しない金融機関担当者であれば、長期的にお付き合いするにはふさわしくありませんので、他を当たった方が良いでしょう。

今回は「お金は使って初めて完成品」というテーマで記述します。

無料で資産運用の相談をしてみたい方はコチラ

↓

<http://abvom.biz/brd/archives/ahwxrr.html>

具体的な老後資金のプランニングをしたい方はこちら

↓（毎月、先着 3 名様受付限りです）

<http://abvom.biz/brd/archives/oqjjbm.html>

=====

【小屋洋一プロフィール】

個人に対する 300 件以上の個別相談、大手金融機関での
セミナー、執筆、メディア出演など通し、

『一人でも多くの方に主体的で
楽しい人生を送ってもらえるようにする』

ことを目標に活動。特定の金融機関には属さず
第三者的な立場からアドバイスを行なっている。

資産運用だけではなく相続・不動産に関する
専門知識も豊富なファイナンシャルプランナー。

短期的な利益にとらわれずに、長期的な目線と
全体的な視野からもたらされるアドバイスには定評があり、
会社経営者・弁護士・医師・コンサルタントなど
専門職からも厚い信頼を得ている。

《著書》

◇35 歳貯金ゼロなら、親のスネをかじりなさい！
ーすばる舎

◇いわゆる「当たり前の幸せ」を愚直に追い求めてしまうと、
30歳サラリーマンは、年収1000万円でも破産します。

—東洋経済新報社

=====

***** お知らせ *****

◆ マイナンバー制度導入を検討されている企業様へのご案内です。

マイナンバーの手引書・CDができましたので、発売を開始いたします。

(1) 手順通りやれば誰にでもできる

マイナンバー制度運用手引書 1,000円(税込み) 送料着払い

<目次>

- 1) 推進体制と責任者を決める
- 2) 従業員に説明するとともに、協力を依頼する
- 3) 税理士や社会保険労務士等への業務委託
- 4) 個人事業主取引先のリストアップとマイナンバー提供依頼
- 5) 安全管理措置の実施・・・・・・始業／終業点検の実行
- 6) 保管管理の実施や廃棄等のルール化
- 7) 2016年に実施する課題の準備をする(現法令の場合)
- 8) 付表 MyNa 問診シート

(2) 手引書テンプレート、規程集等 CD 5,000円(税込み) 送料着払い

ご注文は

<http://www.hosbiz.net/pdf/20150907.pdf>

をプリント後必要事項を記入のうえ、注文票に記載のFAXでお願いします。
現品は、入金確認後に送付させていただきます。

また、予備調査をご希望の方は、

http://hosbiz.net/pdf/20150527_02.pdf

を開き、「問診シート」をプリントして、必要事項をご記入のうえ、FAX ください。

FAX : 03-5832-9404

※ 特にP-マークや品質・環境／情報セキュリティISOを導入済みの
の企業様には、ローコストでの導入をご提案できます。

=====

◆パートナー会社の（株）I & C・HosBiz センターが、リーズナブルコストで
“現状を打破したい！”“はがゆい”ところに手当てする安心と安全の「かかり
つけ医」による「ビジネスドック」（企業の健康診断）のサービスを開始しました。
詳細は、以下のHPを参照ください。（マイナンバー制度にどう取り組むべきかの
診断もいたします。）

<http://www.hosbiz.net/pdf/dm.pdf>

=====

経営特くんゲーム 開催のスケジュールのご案内

「マスター20」、「トライアルゲーム」

詳細は下記のHPを参照ください。

■毎回、熱心な皆さんが参加されています。繰り返し参加されることによって、
「経営力」がパワーアップされますとともに、「コミュニケーション力」も
体得できます。

■「トライアルゲーム」（初回体験受講）の場合はテキスト代 1,000 円

=====

■キット BOX を頒布いたします■

「経営特くんゲーム」に関心があり、トライアルゲームを受講された方、または、これから体験したい方、向けに「キット BOX」と「マネジメント会計3表」(MO、B/S、P/L)等のゲームに必要な表、ならびに、記入方法、戦略・作戦の考え方を解説した「DVD」を添えて提供いたします。

◆購入方法はお問い合わせください。

E-Mail: happy@keiei-tokkunnshi.jp

◆価格 : 定価 70,000 円(税別) 支払方法は、ご相談に応じます。

◆特典

- 1)「トライアルゲーム」および「マスター20講座」を5回、無料で受講できます。
- 2)申請いただければ、審査の上、「認定経営特訓士」に登録して頂けます(有料)。
- 3)更に、インストラクターを目指す方には、特別料金で受講できますので、係までお問い合わせください。

=====

プレゼントのお知らせ

◆「人生に五計あり」の保存版を作りましたので、ご希望の方は、

happy@keiei-tokkunnshi.jp

でお申込みください。

折返し、メールにて送付させていただきます。

=====

一般社団法人 経営特訓士協会（略称：KTGA）

URL <http://keiei-tokkunshi.jp/?mail>

アドレス：happy@keiei-tokkunshi.jp

発行責任者： 理事長 平本 靖夫、 編集： 理事 石川 昌平

配信解除URL：配信停止をご希望の際は、以下のアドレスをクリックしてください。

http://asu12.com/d.php?t=test&m=stone_river@ho